

第一生命リアルティアセットマネジメント株式会社



第一生命ホールディングス

SOHGO
HOUSING

相互住宅

2021年2月3日

第一生命リアルティアセットマネジメント株式会社

第一生命ホールディングス株式会社

相互住宅株式会社

私募リート「第一生命ライフパートナー投資法人」の

第二回私募増資および不動産の取得完了

第一生命ホールディングス株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「第一生命 HD」)と相互住宅株式会社(代表取締役社長:永山 篤史、以下「相互住宅」)の共同出資によって2019年7月1日に設立した「第一生命リアルティアセットマネジメント株式会社」(代表取締役社長:牧内 克司、以下「第一生命リアルティ」)は、2020年3月2日に適格機関投資家向けの非上場オープンエンド型私募リート「第一生命ライフパートナー投資法人」の運用を開始しておりますが、本日2021年2月3日に第二回私募増資を通じた不動産の取得が完了したことをお知らせします。

「第一生命ライフパートナー投資法人」は、日常生活の基盤である住宅を中心に、第一生命グループの現行中期経営計画の柱である人々のQOL向上¹への貢献に資する不動産を投資対象とし、昨年3月に運用資産規模約290億円、17物件でスタートしました。今回の取引では、スポンサーである第一生命グループ内からの物件取得に加え、グループ外部からの物件取得も進め、運用資産規模は約520億円、計30物件²に到達しました。本投資法人の投資対象である賃貸住宅およびQOL向上アセットは、安定的なアセットクラスとして、国内の機関投資家から好評を得て、今回の私募増資においても募集を上回る需要となりました。

今後も東京23区を中心とした優良住宅物件を多数保有する第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二)と、賃貸住宅開発力を有する相互住宅による物件供給・人財派遣等によるサポートに加えて、第一生命リアルティによる独自の物件ソーシングルートの更なる強化により、2023年を目途に運用資産規模を約1,000億円まで拡大させ、以降も持続的な成長を目指します。

第一生命グループでは、これまでに培った豊富な不動産開発・投資ノウハウを活用し、本私募リート事業を通じて国内の機関投資家に優良な投資機会を提供してまいります。また、QOL向上に資する不動産物件(高齢者向け住宅、メディカル施設、教育関連施設、保育所等生活関連施設等)の組み入れを中長期的に増やしていくことで、人々のQOL向上への貢献を投資家の皆さまと共に推進していきたいと考えています。

¹ その人の望む人生や、こう生きたいという生き方を実現すること。また、よりその人らしい生活を送ること。

² 賃貸住宅:26物件(うち、東京23区内は24物件)、QOL向上アセット:4物件

< 第一生命ライフパートナー投資法人の概要 >

名称	第一生命ライフパートナー投資法人
所在地	東京都千代田区霞が関三丁目8番1号
代表者	牧内 克司
設立日	2020年1月17日
運用開始日	2020年3月2日
資産規模	520億円程度(2021年2月時点)
投資対象	住宅および人々が日常生活で利用しQOL向上に資する不動産
投資地域	東京23区内を中心とした三大都市圏(東京圏・大阪圏・名古屋圏)、 その他地方主要都市

< 第一生命リアルティの概要 >

名称	第一生命リアルティアセットマネジメント株式会社
本社所在地	東京都千代田区霞が関三丁目8番1号
代表取締役社長	牧内 克司
設立日	2019年7月1日
資本金	2億円
株主構成	第一生命ホールディングス株式会社 70% 相互住宅株式会社 30%
登録・認可等	宅地建物取引業 東京都知事(1)第103977号 取引一任代理等の認可 国土交通省大臣認可第132号 金融商品取引業 関東財務局長(金商)第3168号
ホームページ	https://www.dai-ichi-life-realty.co.jp/